



# News Release

2019年4月23日

各 位

会社名 栄研化学株式会社  
代表者名 代表執行役社長 和田 守史  
コード番号 4549 東証1部

## 栄研化学と HUMAN、LAMP 法による三日熱マラリア遺伝子検査薬の販売を開始

栄研化学株式会社（本社：東京都台東区）は、HUMAN Gesellschaft für Biochemica und Diagnostica mbH<sup>\*1</sup>（社長：Ralph Neuberger、本社：ドイツ・ヴィースバーデン、以下 HUMAN）と LAMP法による三日熱マラリア遺伝子検査薬の海外市場（中国、韓国、台湾、タイは除く）における販売契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

マラリアは、世界三大感染症の一つで、亜熱帯・熱帯地域の約 90 カ国で流行しており、それらの国々では 25 億人もの人々が脅威にさらされグローバルヘルスの課題となっています。2018 年には 2 億 1,900 万人が感染し、推計 43 万 5,000 人が死亡しています。人間の命を最も脅かしているのが、熱帯熱マラリア原虫と三日熱マラリア原虫です。アフリカ大陸で多くみられるのが熱帯熱マラリア原虫で、世界のマラリアに関連する死亡のほとんどが、この原虫によるものです。一方、サハラ以南アフリカ以外のほとんどの国では、三日熱マラリア原虫によるものが主流となっています。WHO マラリア報告（2017 年）によれば、三日熱マラリア原虫によるマラリアは、世界でおおよそ 750 万症例と推計されています。

当社は、このたび、FIND<sup>\*2</sup>（本部：ジュネーブ）との共同開発により、世界初となる LAMP 法による三日熱マラリア検出試薬を発売いたしました。本検出試薬は、三日熱マラリア原虫を、約 1 時間で高感度に検出でき、現在汎用されている顕微鏡法や、イムノクロマト法では見逃されていたマラリア患者を、本試薬の特長である感度の高さを活かすことで、精度よく見つけ出すことが可能です。また、治療法の異なる熱帯熱マラリアと三日熱マラリアを診断することで、早期に適切な治療につなげることが可能となります。FIND は、本検出試薬の開発において、ドイツ政府ならびにオーストラリア政府からの支援を受けております。

当社は、2016 年より HUMAN との販売契約により、FIND と共同で開発したマラリア属原虫を検出する試薬および熱帯熱マラリア原虫を検出する試薬を世界で販売しております。今回、発売する三日熱マラリア検出試薬を加え、これら試薬の世界的な普及を進め、世界のマラリア対策に貢献していきたいと考えております。

## ※1 HUMAN

HUMANは、160カ国以上に臨床検査薬、装置、研究用製品を開発、製造、販売しているグローバル企業です。 HUMAN に関する情報は、以下URLをご参照ください。



<http://www.human.de/en/index.php>

## ※2 FIND

Foundation for Innovative New Diagnostics の略。革新的で新しい検査法を開発するために設立された非営利目的の基金です。2003年5月のWorld Health Assembly（世界保健会議；WHOの最高議決会議）において発足し、その設立目的は、新興国に適した革新的な感染症検査薬の開発を支援し、手頃な価格の製品の普及を推し進めることで、人々の健康を支え、発展させることです。 FIND に関する情報は、以下URLをご参照ください。

<http://www.finddx.org/>



### 【本件に関するお問い合わせ先】

栄研化学株式会社 経営企画部広報課

TEL: 03(5846)3379 e-mail: koho@eiken.co.jp

ホームページ <http://www.eiken.co.jp>